



ひとづくり委員会 事業報告

委員長 今井琢也

委員 川崎敏広、鈴木滋朗

テーマ「ひとづくりイノベーション」

会員とその従業員さんを対象として、下記のパンフレットでの案内の通り総合のSコースと、それを受講しやすく分けたAコース、そしてBコースの計3コースを設け全14回にわたり開催いたしました。以下、受講者によるアンケート等を抜粋紹介して事業報告とさせていただきます。

KISEREN 京都機青連ものづくり塾

2005～2006年度 経済産業省 産学連携製造中核人材育成事業
立命館大学-機青連ひとつくり委員会 共同開発人材育成教育プログラム
※この塾は昨年度までの成果を活用し、機青連が自立化して行っている事業です。

～ものづくり総合力育成コース(Sコース)～ 受講対象: 経営幹部生～現場リーダー

●期間 2007年9月～2008年3月(計14日間)

日程	ものづくり総合力育成コース(S)		講師	講義場所
	技術経営力育成コース(A)	現場改善力育成コース(B)		
1 9月18日(火)	市場開拓		新井川製作所 沢川社長	キャンパスカフェ教室 5階第1講義室
2 9月25日(火)		現場改善①	株式会社アクト 田中社長	経営センター
3 10月2日(火)	京都試作技術マドックス		立命館大学 大村コーディネータ	キャンパスカフェ教室 5階第1講義室
4 10月4日(木)		ものづくり現場革新①	立命館大学 今岡教授 大阪工業大学 本位田教授、菅川講師	キャンパスカフェ教室 5階第1講義室
5 11月1日(木)		人財育成	新井川製作所 山岡社長	キャンパスカフェ教室 5階第1講義室
6 11月8日(木)		ものづくり現場革新②	大阪工業大学 本位田教授、菅川講師	キャンパスカフェ教室 5階第1講義室
7 11月27日(火)	市場創生マネジメント① 技術開発戦略①		立命館大学 香月教授、立場教授	キャンパスカフェ教室 5階第1講義室
8 12月13日(木)	市場創生マネジメント②		立命館大学 香月教授	キャンパスカフェ教室 5階第1講義室
9 12月20日(木)	技術開発戦略②		立命館大学 立場教授	キャンパスカフェ教室 5階第1講義室
10 1月16日(木)		ものづくり現場革新③	新井川製作所 辻社長 大阪工業大学 本位田教授、菅川講師	新井川製作所
11 1月25日(金)	技術開発と新事業開発		新井川製作所 秋田社長 アクト 藤本取締役	キャンパスカフェ教室 5階第1講義室
12 2月8日(金)		IT化	山本精工 山本副社長	キャンパスカフェ教室 5階第1講義室
13 2月26日(火)		現場改善②	株式会社アクト 東専務	経営センター
14 3月6日(木)	ものづくり現場革新④ (受講自由)	ものづくり現場革新④	大阪工業大学 本位田教授、菅川講師	キャンパスカフェ教室 5階第1講義室
講義回数 (講義日数)	コース(S) 14 コース(A) 6+1		コース(B) 8	
受講対象	経営幹部生～工場長クラス	工場長クラス～現場リーダー		

注)各講義の概要は、Aコース、Bコースの案内をご覧ください。
Ritsumeikan University Graduate School of Technology Management

事前下見 日時：平成19年6月11日(月)13:30～17:30
講座をより良いものにするために、先生方と共に会員企業15社を下見調査。





第1回 日時：平成19年9月18日(火) 18:30~20:30

講義名 市場開拓 - ものづくりから事業への展開

講師名 (株)衣川製作所 代表取締役社長 衣川 隆文

- ・ 衣川社長の仕事(経営)に対する姿勢や社員への思いが良く伝わってきて非常に聞きやすく、わかりやすい講義でした。ありがとうございました。パワーをもらいました。
- ・ 人づくりの重要性を体験談を交えて話していただき、大変聞きやすく、興味深く思えました。
- ・ ものづくりで人づくりは、永遠のテーマ。挨拶の大切さ。
- ・ 顧客とともに成長する。互いに成長できる顧客が良い関係、長く続く関係を作り上げる。
- ・ より現場に近い、事実、現実に近い(今回のような)講義が聞きやすいと思いますので、今後もそういう形で開催していただきたい。



第2回 日時：平成19年9月25日(火) 18:30~20:30

講義名 現場改善 - 3Sで社風が変わった

講師名 (株)タナカテック 代表取締役社長 田中 稔

- ・ 誰でもできることを誰でもできないくらいまでやると言う言葉が凄く心に残りました。
- ・ 話の内容も分かりやすく、質問したことに対して分かりやすく説明してもらえたので良かったです。
- ・ 何回来ても学べる企業さんなので、会社の中を見せていただくだけで十分な講義になります。
- ・ 利益を出すことだけを目的とせず、まず、自社の風土や3Sを徹底して改善していく。
- ・ 続けることの大事さ。企業の有り方。
- ・ 毎日続けることによって社内の環境、社員の意識も変わっていけると思いました。



第3回 日 時：平成19年10月2日(火) 18:30~20:30

講義名 京都試作技術マトリックス - スキル分析で何が見えるか

講師名 立命館大学 コーディネータ 大村 昭

- ・ グラフに表すと他社と比べて何が欠けているか把握できるようになり、勉強になった。
- ・ 色々な項目について自社を分析する手法を面白く感じました。会社全体に関する内容で捉え難い部分もあった。
- ・ ディスカッションの時間が特に有意義に感じました。ただ講義を聞くというスタイルでないことによさを感じました。
- ・ 昨年度、アンケートにも答えているので、それについて改めて学び把握できた。マネジメントスキル分析アンケート結果報告書はとても参考になった。
- ・ 今日学んだ各項目の評価に関して、定期的に考える機会を持ちたいと思う。



第4回 平成19年10月4日(木) 18:30~20:30

講義名 ものづくり現場革新 - グローバル競争下での現場革新

講師名 立命館大学 教授 今田 治

講義名 ものづくり現場革新 - なぜ現場改善が必要なのか?

講師名 大阪工業大学 教授 本位田 光重

- ・ 現在のものづくりのグローバル化の状況など、詳しく聞けてよかった。
- ・ 世の中の流れがよく分かりました。今現在の仕事でよいのかと思います。何か変えないと!
- ・ 今後改善するに当たって今まで疑問に思っていたことなど、しっかりと本質をついた説明で非常に分かりやすかった。順を追った詳しい説明が難しい内容でも理解しやすかった。

- ・ 会社の規模に係わらず、現場の力がとても大切だと改めて感じました。
- ・ 時間がないから「できない」ではなく、「やってない」ではないかと考えさせられることが多かった。「見える化」の大切さ
- ・ 常に問題点を見つけよう、考えようとする姿勢が大切である。
- ・ 今田教授の講義では、強い現場の作り方、現場確信の必要性、色々な無駄を取り除いていく。
- ・ まずは小さなことで試してみて、今後の改善の流れを掴もうと思いました。
- ・ 今日教えてもらった事を実践していきたいです。
- ・ 現場をビデオで取ってみる。
- ・ 順に整頓、清掃。常にアイデアを出す癖をつける。
- ・ 次回講義が楽しみです。
- ・ 初回の(株)タナカテック様会社訪問を中心として、実際の現場での最新例を紹介してもらった方が、具体的で勉強になる。



第5回 平成19年11月1日(木) 18:30~20:30

講義名 人材育成 - 人材育成システム、教育システムを作る

講師名 (株)山岡製作所 代表取締役社長 山岡 祥二

- ・ 職能資格制度やマンパワーUPの取り組み等、当社にも大変参考にさせていただいた部分があると感じました。完成度や運営していく風土等は比較にならず、今後、単年度、中期の計画の中でより完成させていく計画の必要性を自分の立場で可能な限り働きかけていこうと思います。
- ・ 山岡社長の講義を受け、自分のスキルアップをもっと図り、自分自身を向上させていこうと決意しました。
- ・ 企業は人材育成で伸びると確信した。

- ・ 今まで苦労されて築かれてきたことを講義していただき、本当によかった。
- ・ 仕事が忙しいという理由を今後は言わないようにしようと思う。



第6回 日時：平成19年11月8日(木) 18:30~20:30
講義名 ものづくり現場革新 - ムダとは何か? まずは3Sから
講師名 大阪工業大学 教授 本位田 光重
講師 皆川 健多郎

- ・ 久しぶりに夢中になりました。
- ・ レゴを使っての作業改善、楽しく講義を受けられました。グループによって、人によって、色々な発想があり、頭の柔らかさが必要だと感じました。
- ・ 机上の勉強だけでなく、演習を通じての方がより身に付き頭に入るのでよかった。
- ・ 限界と思える部分にもまだまだ改善点が残されているということ
- ・ 今日は目に見えて分かりやすかったです。面白く学べたので大変よかった。



第7回 平成19年11月27日(火) 18:30~20:30
講義名 市場創生マネジメント - 新しい市場を読む。市場予測とマーケティング
講師名 立命館大学 教授 香月 祥太郎
講義名 技術開発戦略 - 自社の機会脅威の分析から戦略の立案へ
講師名 立命館大学 教授 玄場 公規

- ・ 難しかったというのが本音ですが、次回に繋がるように理解しておきたい。
- ・ マーケティングの重要性を再認識した。
- ・ 身近なコンビニの話しが面白かった、よく理解できた(他に2件)。
- ・ 今までマーケティングやイノベーションという言葉は聞いたことはあるが、この機会に少し理解す

ることができた。

- ・ 新たな市場を自ら創造して、自社でできることを探していく。
- ・ もっと時間をかけて深く掘り下げて次回は聞きたい。伸びる会社は必ずしっかりと考えていると思った。
- ・ 顧客満足度を第一に考えること



第8回 日時：平成19年12月13日(木) 19:00~21:00

講義名 市場創生マネジメント - 新しい市場を読む。市場予測とマーケティング

講師名 立命館大学 教授 香月 祥太郎

- ・ 市場予測の手法の一例としてのマーケットフォーサイト法を使用、新たな市場を開拓していくということ
- ・ 市場予測を行ない、それを元に経営戦略を立てる等、経営方針を決定する手法の一つとして考えてみる。



第9回 日時：平成19年12月20日(木) 18:30~20:30

講義名 技術開発戦略 - 自社の機会脅威の分析から戦略の立案へ

講師名 立命館大学 教授 玄場 公規

- ・ 講義は分りやすかったが、実習のテーマが大きすぎて進めにくかった。
- ・ S W A T分析を皆さんでできて面白かった。
- ・ 分析していくことの必要性、深さ。初めての「S W A T分析」でしたが、良かったです。
- ・ 会社に持ち帰って皆で討論して、クロス分析して出た結果を実行していけたらと思う。即、社内で生かしたい。



第10回 日時：平成20年1月16日(水) 18:30～20:30

講義名 ものづくり現場革新 - ムダとは何か? まずは3Sから

講師名 大阪工業大学 教授 本位田 光重

講師 皆川 健多郎

- ・ 現場を見学することにより、無駄があるのか、スペースを活かせているのか等が理解できた。
 - 1F NC 仕上げ 曲げ 溶接の一連の流れの中で
 - 2F 検査 出荷
- ・ 自分の会社にどのような無駄があるのか分かってよかった。
- ・ 他社の方々の意見を聞いて参考になった。
- ・ 色々と改善すべき点が上げられました。自社を外から見れるようになった。
- ・ もうちょっと現場を見たかった。作業中も見たい。
- ・ 最初は何が求められているか分らなかったが、やっていくうちに意味が分ってきて、やはりよく考えることが重要と思いました。
- ・ 今回の講義の内容は、自分のこと以外に他の人たちの意見も聞いたので良かった。
- ・ 実際に工場を見学して無駄を見つけるということでしたが、なかなか無駄を見つけるのが難しかったです。
- ・ 講義だけでなく実際に工場を見学した上で話が進むので分かりやすかった。
- ・ 実際に工場見学をさせて頂いて大変勉強になった。
- ・ 自社のビデオを第三者の視点で見たら、結構雑な感じでした。無駄が多いことなどです。
- ・ 無駄は無いようで、視点を変えるとまだまだあるように思った。
- ・ 無駄の見つけ方を学んで、自社の無駄を改善して行きたいです。





第11回 日時：平成20年1月25日(木) 18:30～20:30

講義名 技術開発と新事業開発 - 中小企業における開発は

講師名 (株)秋田製作所 代表取締役 秋田 公司

(株)アクト 取締役 岡本 好弘

- ・ 私自身が今年から技術開発という仕事についてきたので、全てに役立つ内容だった。
- ・ まず自分が変わらなければ、社員も変わって行けない。新しいことにチャレンジさせること、その場を提供していけば、社員は変わり、育つと思いました。まずは自分が変わり、周りを変えて行きたい。
- ・ 常に先を見て何が求められているか、その求められていることに対して自社でできることは何かを考え続けることの重要性を感じました。



お二人の写真がなかったので、昨年のもを流用させていただきました。申し訳ありません。

第12回 平成20年2月8日(金) 18:30～20:30

講義名 IT化 - 企業内デジタル化を進める

講師名 山本精工(株) 代表取締役副社長 山本 昌作

- ・ ドロくさい話もありながらの講義だったので非常に良かった。
- ・ 実体験を交えながら分かりやすく講義されて、飽きることなく聞かせていただけた。
- ・ 山本副社長の人を引き付ける話し方に聞き入って、熱い思いが伝わってきてよかった。
- ・ 社内をIT化することで人のやらなくても良い仕事を浮き彫りにする。
- ・ 職人は作らないというフレーズや、IT化でのものづくりの話に凄くインパクトがあり、衝撃を受けました。

- ・ 人間らしいやりがいのある仕事に取り組むこと
- ・ 仕事とは、苦勞すればするほどやりがいがある。
- ・ 作業環境を含め、記録を残して行くところから活かして行きたいと思います。
- ・ 知的労働と単なる労働の分離



第 13 回 日 時 : 平成 2 0 年 2 月 2 6 日 (火) 1 8 : 3 0 ~ 2 0 : 3 0

講義名 現場改善 - 現場改善は人材育成から

講師名 (株)セイワ工業 専務取締役 東 憲彦

- ・ 3Sの強要じゃなく、自主的な3Sがすごくよかった。
- ・ 現場改善というテーマから想像するとは裏腹に現場の話は少なく、意識改革の話で意外であった。しかし、それが現場改善に最も大切であると感じられた。
- ・ 先頭に立って引っ張っていく人がしっかり自覚して、変化することが大切だ。
- ・ 自分達の会社にはあてはまらないことばかりだった。
- ・ 優しさより、「おもいやり」って事がすごく印象に残った。
- ・ 今回のような説明や会社を代表される方の考えが聴けるような場を増やしてほしい。



第 14 回 平成 2 0 年 3 月 6 日 (木) 1 8 : 3 0 ~ 2 0 : 3 0

講義名 ものづくり現場革新 - 職場のムダを見つけよう

講師名 大阪工業大学 教授 本位田 光重

講師 皆川 健多郎

- ・ IE で学んだことの復習になった。社内での教育や現場での指導に役立てて行く。
- ・ 見直さなければいけない点にたくさん気づくことができた。
- ・ 内容が現場に即していて非常に分りやすかった。
- ・ 前半は今までの復習だったが、ムダについて再認識できた。
- ・ ムダを省くことを日々進めているが、ムダが多すぎて改善を進めるのになかなか浸透が出来ない。

KIDAREN

- ・ とてもわかりやすく自分自身のステップUPになりました。
- ・ “7つのムダ”を現場のみんなに少しでも上手く伝えるようにしていきたい。
- ・ ビデオ演習やグループでの話し合い等、1人で気づけないところを気づけたりしたのでよかった。
- ・ 冷静に考ええると、まだまだムダがありそうだ。
- ・ 常に回りや自分のしていることに気をつけながら、小さなことにも目を向けて行こうと思った。
- ・ 今日学んだように、ムダを分類して発見することがまずは大切だと思う。
- ・ レゴの時と同様に講義を聞く以外の作業でとても入りやすく、熱意を持って取り組めた。



以上